

船舶法中改正法律案
件外一
特別委員會議事速記錄第二號

明治三十八年一月二十八日(土曜日)午前十時二十六分開會

○委員長(伯爵徳川達孝君) ツレデハ是カラ委員會ヲ開キマス

○政府委員(田健治郎君) 此船舶職員法ノ改正案ヲ提出イタシマシタ大體ノ理由ヲ申上ケマスガ、此理由ハ種々ゴザイマスガ、先ヅ第一ニ此船舶職員法ヲ定メマシタ頃ハ此噸數ノ標準ヲ登簿噸數ト云フコトニナツテ居リマシテ、總テノ法律ガサウ云フコトニナツテ居リマシタ故ニ其船舶職員法ニ於テモ登簿噸數ヲ基礎トシテ總テ極メマシタノデゴザイマス、然ルニ其後商法ノ制定等ニ於キマシテ登簿噸數ト云フモノハ一切廢メニシテ總噸數デ規定スルコトニナリマシタ、ソレガ故ニ同ジ船舶ノ取締ヲシマスルノニ一ハ登簿噸數デ取締ヲシ、一ハ總噸數デ以テ取締ヲスルト云フヤウナ兩様ニ跨リマスル不便ガゴザイマスノデ、ソレデ之ヲ一致セシムル爲ニ此度ハ總テ總噸數デヤルト云フコトニシタノデゴザイマス、ソレカラ又最下限モ職員法ニ於テハ登簿噸數十五噸、積石數百五十石ト云フノガ此範圍ニ這入ル最下限ニナツテ居ッタノデアリマスガ、此度ノ法律ニ於キマシテハ總テ總噸數二十噸、積石數二百噸ト云フコトニナツテ居リマスカラ、是モ亦同様ニスル必要カラ起ツタノデゴザイマス、是ハ即チ此改正案ノ表ニ、第一表ト云フ表ニ出テ居リマスル所ノ噸數ガ總テ今申上ゲル點デゴザイマス、ソレカラ第二ハ此帆船ニ就キマシテハ沿海航路ト云フモノ、規定ガ現在法ニ於テハゴザイマセヌ、然ルニ船舶検査法ノ改正ニ依テ此沿海航路ト云フモノヲ、ドウシテモ此方ニモ入レテ置カヌト云フト鈞合ガ取レヌコトニナリマシタ故ニ、ソコデ此沿海航路ノ中ニ帆船ト云フモノ、職員ノ規定ヲ定メルト云フコトニ致シマシタノデゴザイマス、ソレカラ第三ニハ此海技免狀ノ效力ト云フモノハ極メテ今ノ規定デハ嚴格ナモノニナツテ居リマスルガ、事實ニ就キマスルト云フト今日船舶ノ未ダ十分餘リアルト云フ譯ニイカヌ場合ニ於キマシテハ海技免狀ヲ今日ノ現行法ノ通りニシテ置キマスルト云フト職員ノ供給ニ多少ノ不便ヲ感ジマス、ソレハドウカト申スト、或ハ帆船バカリニ乗ツテサウシテ漸ク海技免狀ヲ得タト云フ如キ者或ハ其他ノ者モゴザイマスガ、今日ノ職員法デハ總テ船舶ニ向ツテノ技術ヲ備ヘナクテハ海技免狀ハ遣ラナイト云フコトニナツテ居リマス、ソレデハ此或ル一種ノ特技ニ長ジタ者ヲ用井ルコトノ便利ガ開ケマセヌ、故ニ此度經歷ヲ以テ或ル一種ノ船舶ニ向ツテ充分能力ヲ持ツテ居ル者ハ此船舶ニ限ツテハ職員トナルコトヲ許スト云フ特殊ノ働ヲ爲シ得ルダケノ海技免狀ヲ與ヘル様ナ便法ヲ開ク、是ハ即チ此改正案ノ第三條ニ一項ヲ加ヘマスノガ即チ此點デゴザイマス、ソレカラ第四ニハ此特殊ノ船舶、即チ外國ノ港バカリニ航行シテ居ル船舶ト、今事實デ申シマスト、楊子江流域ニ航通シテ居リマス、商船會社、郵船會社若クハ大東汽船會社、湖南汽船會社ノ如キモノハ殆ド楊子江ノ流域バカリヲ航行シテ他ニハ出ナイ船デゴザイマス、サウ云フヤウナ類ノモノ、若クハ漁船バカリニ用井マス特殊ノ……普通ノ旅客貨物ナドヲ運搬シナイ特殊ノ目的ニ專用セラル、船、又特殊ノ構造ヲ持テ居ル即チ石油發動機トカニ云フヤウナ類デゴザイマシテ、普通ノ蒸汽機關デ以テ運轉シナイ別種ノ構造デ以テ出來テ居ル所ノ船、斯ウ云フモノニ付キマシテハドウシテモ此唯普通ノ職員法ニ據

リマシテ船舶職員ヲ乗込マセルコトが出来ナイ、又甚ダ不適當デムダナコトニナルト云フ
虞ガゴザイマスカラ、是等ノ邊ハ命令デ以テ斯ウ云フ船ニハ斯ウ云フ職員ヲ備ヘ得ルト
云フコトノ取除キノ便法ヲ開イタナラバ大ニ事實ニ便益ヲ得ルデアラウト存ジマスカラ、即
チ此改正案ノ第七條ニ於キマシテ命令デ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得ト云フコトヲ
備ヘマシテ便利ナル途ヲ開キタイト存ズルノデアリマス、ソレカラ第五ニハ改正案ノ第九
條ノ二三關係ガゴザイマスガ、今日デハ此外國船ニ一切船舶職員法ハ適用ガ出来ヌヤ
ウニナッデ居リマスガ、此船舶検査法第十七條ニゴザイマス所ノ外國船ト申シマスモノハ
即チ日本人ガ外國船ヲ雇入レテ而シテ我國ノ各港間ヲ航海シマスル船デゴザイマス、是
ハ平日ニ於テハ減多ニ無イコトデゴザイマスガ、今日ノ様ナ時局ニ於キマシテハ隨分澤山
ナ雇船ト云フモノヲ使ッデ居リマス、其場合ニ於テ、マア其外ニモゴザイマス、移住民ノ
船ノ様ナ類モゴザイマスガ、其場合ニ於テ唯我國ノ法律ヲ少シモ適用セズニ放任シテ置
クコトハ如何ニモ危險ナ不安心ナ次第デゴザイマスカラ、サウ云フ船ニ向ッデハ矢張り我
内國法ヲ外國船ニ適用シテ相當ノ取締ヲシ相當ノ安全ヲ期スルコトが出来ルト云フコ
トニシタイト云フノデゴザイマス、ソレカラ第六ニハ此第八條第九條等ノ如ク現行法ニ頗
ル不備ナ點ガゴザイマシテ、或ハ罰則ナドニ向ッデモ無能力者ナドニ對スル規定ガ缺ケテ
居ル様ナ、サウ云フ點ガ往々ゴザイマス、其邊ノ不備ナ點ヲ補ヒマシテ法ノ執行ニ差支ナ
カシムルヤウニ致シタイ、大體ハ今申上ゲル數點デゴザイマス、其他逐條ニ至リマシテ
必要ナル説明ハ御質問ニ依リマシテ辨明ヲ致スコトニ致シタウゴザイマス、斯ウ云フ次第
デゴザイマシテ今日最早此改正ハ時機ガ後レテ居ルト云ッデモ宜イ様ナ點モゴザイマスシ、
又今後航海ノ進歩ヲ計リマス爲ニハ是非トモ此改正ヲ要スルト云フ點ガ多イノデゴザイ
マスカラ、ドウカ御賛成ヲ下サレマシテ可決ニナルヤウニ致シタイト思ヒマス

○委員長(伯爵徳川達孝君)　チヨット……此改正法案ハ條數モ短クアリマスカラ、大體ト各逐條ト交セテ御質問デモ敢テ混雜ヲ致シマスमित考ヘマスカラ、其御積リテ御質問ヲ願ヒマス、ソレカラ私モ二三箇條極小サナコトデアルカ知レマセヌガ、御尋イタシマヌガ、今ヲ御説明デ大體ハ分リマシタガ、此現行法ノ三條ニ「海技免狀ハ左ノ十二種トス」トシテアル、ソレカラ此現行法ノ第一條ノ二項目ニ「船舶職員ト稱スルハ」云々ト云フ船舶職員ノ定義ガ出テ居ルガ、併シ現行法ノ三條ノ十二種ヲ見ルト云フト、二等機關士、三等機關士ナドト書イテアル、ソレデ一條ノ職員ノ方ニハ船長、一等運轉士、二等運轉士、機關長及一等機關士、ト云フコトガアツデ二等ト三等ガアリマセヌガ、併シ此表ニ據デ見ルト機關長ト云フ名義デ船ノ噸數ノ工合ニ依ッデ二等機關士ガ機關長ニナッデ居ルコトモアリマスカラ、ソレデ一條ニアル所ノ機關長及一等機關士ト云フコトハ船ノ種類ニ依ッテ、二等三等ノ機關士モ其中ニ含シテアルモノデアルカラ、二等機關士、三等機關士ト書カナクツデモ宜イト云フ意味デアルカ、ソレヲ伺ヒタイ、ソレカラモウ一ツハ罰金ノ所デゴザイマスガ、現行法デハ二十圓以上二百五十圓以下ト云フコトニナッデ居ル、今度ノ改正案ハ最低額ガ無クテ五百圓以下ト云フコトデアル、ソレデ二百五十圓

ト云フモノト五百圓以下ト云フモノトハ大變差ガゴザイマスガ、ソレハドウ云フ譯デ何ニ基イテ五百圓以下ニ殖エタノデアリマスガ、其點モ伺ヒタイ、第二ハ先刻ノ御説明デモ分リマシタガ、各項ニ於テ外國船ニモ矢張り八條ノ所ヲ準用スルコト云フコトハ九條ノ改正ノ二デアリマスガ、多分ソレデゴザイマセウ、第四ニハ第九條ノ二項ノ「成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者」云々ト云フノハ民法ノ六條ノ規定ノ事ヲ指シタモノデアルカ、其點モ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(内田嘉吉君) 唯今ノ御問ニ御答イタシマス、第一點ハ第一條ニ掲ゲテゴザイマスル機關長、一等機關士、第三條ニ機關長、一等機關士、二等機關士、三等機關士トゴザイマシテ、其名稱ガ文字トシテ同シク記載セラレテ居リマスノデ至極御尤ナ御尋ネデゴザイマス、申上ゲマスト云フト、即チ第一條ノ方ハ船舶ニ於テ職ヲ執ル上カラ申シマシタノデゴザイマス、詰リ補職ノ方ノ意味デゴザイマス、第三條ノ方ハ本人ノ持テ居リマス所ノ免狀、即チ本人ノ資格デゴザイマス、例ハ違ヒマスカ知レマセヌガ、軍人ノ事ニ付キマシテ申上ゲマスト御分リ易カラウカト思ヒマスガ、佐官トカ尉官トカ官名ガゴザイマス、其人ガ艦長ニ補セラレルコトモアリ、航海長ニ補セラレルコトモアリマス、第一條ノ方ノ船舶ノ職務ノ方カラ申シマシタモノ、第三條ノ方ハ免狀ノ方デゴザイマス、詰リ表ニ就テ御覽下サイマス、船舶ノ職員名稱ト、免狀ノ種類デゴザイマス、此職員名稱ニ記載シタル職務ニ從事スベキ人ハ免狀種類ノ欄ニ免狀ヲ所有シテ居ラネバナラスト云フコトニナッテ居リマス、第二點ハドウ云フノデゴザイマシタカ

○委員長(伯爵德川達孝君) 第二點ハ移住民ナドヲ載セル外國船ニモ此法ヲ準用シマスカト云フコトデス

○政府委員(内田嘉吉君) 外國船舶ニ本法ヲ適用イタシマス場合ハ當然第八條其他全部ヲ適用イタス見込デゴザイマス

○委員長(伯爵德川達孝君) 第三ハ罰金ノ事デアリマス

○政府委員(内田嘉吉君) 罰金ハ御説ノ通り二百五十圓デアリマシタノラ此度五百圓以下ト改メマシタノハ矢張り船舶職員法制定ノ後ニ、各種ノ法令ガ制定セラレマシテ、就中船舶海員ニ關スル法令制定ノ結果トシテ此改正ヲ要スルニ至ッタノデゴザイマス、例ヲ以テ申シマスレバ船舶ノ事ニ付キマシテ船舶法ト云フモノガ制定セラレテ居リマス、其船舶法ノ箇條ニ、チヨット例ヲ申シマス、船舶ガ航海ヲ致シマス時分ニ相當ノ設備ヲ爲サシテ航海ヲ致シマス、船長其他其責任ニ當ル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處スト云フコトニナッテ居リマス、然ルニ相當ノ技術ヲ備ヘザル、即チ相當免狀ヲ持タヌ者ガ船長トナッテ航海ヲスルカ、或ハ全ク技術ヲ持テ居ラヌ人ガ船長トナル、即チ相當ナ職員ヲ乗組マセザル場合ニハ二百五十圓以下ノ罰金ト云フコトハ取締ノ上ニ權衡ヲ失ヒマス形ニナリマスノデ、サウ云フヤウナ他ノ法令トノ權衡上、本條ノ改正ヲ必要トスルニ至ッタノデゴザイマス、最後ノ未成年者、無能力者ノ場合ニ於キマシテ成年者ト同一ノ能力ヲ有スルコト云フヤウナ規定ヲ設ケマシタノハ民法、商法ノ規定ニ由リマシテ未成年者ガ商行爲ヲナシ、若ハ商賣ヲ爲スコトヲ許可サレタ場合ニハ成年者ト同一ノ能力ヲ持ツト云フ規定ニ基キマシテ御見解ノ如ク但書ヲ設ケタノデアリマス

○黒岡帶刀君 私ハ瑣細ナ事ハ澤山アリマスガ、事外國ニ對シテ關係シテ多少外交

問題トモナラナクテハナラヌヤウナモノハ前後ヲ問ハズ重キモカラ先ニ御伺フシナケレバナラヌ、第九條ノ二項デアリマスネ、是ニ船舶検査法第十七條ニ掲グル外國船舶ニ準用スルコトヲ得ト云フコトガアリマスガ、萬一是ガ外國ノ規則ニ於テ、其國ノ船長、ソレカラ何分ノ一ハ其國人デナケレバ其國ノ旗ヲ立テルコトハ出來ナイト云フ、斯ウ云フ法律ノアル國ノ船舶ヲ日本テ雇フタ場合ニ其國ノ乗組ノ船長及船員ガ、即チ職員ガ、此法律ニ適合ナ海技免狀ヲ持ッタ場合ニハ直ニ此法律ニ基イテ人ヲ替ヘナクチャナラヌ、其場合ニ於テ若シ例ヘバ佛蘭西ノ船舶アッタ場合ニハ佛蘭西人ガ其所ニ居レバ宜イガ、佛蘭西人デナイ以上ハ船長タルコトガ出來ナイ、若シ佛蘭西人デナイ者ヲ船長トスレバ佛蘭西國旗ヲ卸サネバナラヌ、サウ云フ場合ニ於テハ縱令壓制デ我國ガ乗セマシタ所ガ、若シ萬一佛蘭西ノ外國商船ヲ雇ヒマシテ公海ヲ歩キマス場合ニ於テ、佛蘭西ノ海軍ノ規則ニ依レバ、佛蘭西ノ軍艦ノ艦長ハ國旗ヲ監視スルコトヲ任務ヲ持テ居ルカラ、時々佛蘭西ノ船舶ニハ臨檢ヲスル、其臨檢ヲシタ場合ニ船長ガ佛蘭西人デナイ場合ニハ直ニ其國旗ヲ取揚ケル、佛蘭西ノ國旗ヲ立テル資格ガ無イ、其場合ニハ甚ダ面倒ノ場合ニナッテ來ラダラウト思ヒマス、ソレデ外國ノ船舶ノ中ニ於キマシテモ色々種類ガアッテ、外國人ヲ船長職員トシテ乗セラレル法律ノアル國ノ船舶ヲ日本ニ雇ヘバ直ニ此規則ノ範圍内デ處分ガ出來マシテ適當ノ職員ヲ乗セルコトモ出來ルト考ヘマス、ソコデ或國ノ船舶ニ於テハ準用ガ出來ナイコトモアラウカト思ヒマス、故ニ或ハサウ云フ國ノ船舶ハハスト云フコトニナルカ、或ハ此條文ニ於キマシテ特別ノ規定ナキ場合ニ於キマシテハ準用スルコトヲ得ト云フコトニナルカ、ドチカラカニナラヌト或ハ不都合ヲ生ズル場合ガアルカモ知レヌト思ヒマス、例ヘバ今日ノ旅順ニ捕虜ガアッテツッセル以下ニ於テハ今日ノ萬國ノ法ニ於テ、規約ニ從ヘバ其國ニ於テ宣誓ヲ許サヌ時ハ宣誓ガ出來ヌ、日本ノ壓制デ宣誓サセルコトハ出來ヌ、今日すてツッセルハ本國ノ許可ヲ得テ宣誓ヲシタ譯ニナッテ居ル、佛蘭西ノ船舶ヲ雇フタ場合ニモ日本ガ壓制デ下シテ仕舞ッテ日本人ヲ乗セルコトハ出來ナイダラウト考ヘテ居リマス、ソレデ一應サウ云フ規則ガアルヤ否ヤヲ調ベマシタ後ニ實行シタ方ガ適當デアラウト考ヘテ居ル、ソレデ此規則ニ於キマシテハ能ク研究シタイト考ヘテ居ル、其他ニモ伺ヒタイ事ガアリマスカラ其箇條ヲ通ジテ伺ヒマス、ソレカラ遡リテ段々行クノモヲカシイ譯デアリマスガ、此第八條ニ於キマシテ、外國人ヲ雇ヒマス場合ニ於テ若シ其船舶所有者ガ外國人デアッタ場合ニハドウデアルカ、又共有ノ場合ニ於テ船舶管理人ガ外國人デアッタ時ハドウデアルカ、是ハ此賃借人タル日本人ガ重モニナル譯デアラウト考ヘテ居リマス、併ナガラ一應ソコハ伺ヒタイト考ヘテ居ル、又官ノ船舶デアリマシテ民間ニ貸シテアル船、ソレカラ又赤十字社ノ如キ船デアッテ郵船會社ニ貸シテアル場合、此時ニハ矢張り郵船會社ガ借リマスレバ賃借人タル者ガスルノガ當然デアラウト考ヘテ居リマス、ソレハ如何デアルカ、ソレカラ又今度ハ反對ニ商船ヲ軍事上ノ目的デナクテ海軍デモ内務省デモ地方官デモドコデモ借リマスル場合ニ一年或ハ其以上モ借リマシタ場合ニ於テ船舶ノ検査ト云フコトハ出來ル限リハナサルデアラウト考ヘテ居リマスガ、又今日ノ公務上差支アル場合ニハサウ云フコトニハ往カナイ、ソレデ段々其船モ危險ト認メテモ公務上差支アル場合ニハ出來ナイ場合モアラウト考ヘマスガ、斯様ナ船ニハ職員ヲ或ハ乗セ長イ賃借中ニ缺員ノアリマシタ場合ニ於テ直チニ其職員ヲ補充スルガ當リ前デア

が、萬が一急遽職員ヲ補充シナイ、ソレカラ又不適當ノ職員ヲ乗セタ、ソレハ賃借人ト
船主トノ間ニ於テ、ドチカラ此職員ヲ補充スルカト云フ規定が無イ以上ハドチカラ責ニ
任ズルカ、特別ノ規定アル場合ニハ船主或ハ賃借人デアラウト考ヘルガ、規定ノ無イ場
合ニ於テハドウスルカ、ソレカラ第四條ニ遡テ行クノモ少シ何デゴザイマスガ、此外國各
港間ノ航海スル船舶ト云フコトガアリマスガ、是ハ重モ二段々ゴザイマセウガ、上海、漢
口等ニ航行スル船舶ナドガ重モナルモノデアラウト考ヘテ居リマス、其場合ニ於キマシテハ
定期検査、又臨時其他特別ノ検査等ハ如何ナルコトニナッテ居ルカ、ソレニハ矢張り支
那ノ税關又ハ外國ノ船ノ事務ヲ掌ル役所ヨリ、船ノ検査若クハ職員タル人ノ交渉等ヲ
受ケルヤウナコトハ無イカ、少シモ關係ハ無イカ、又日本ノ定期検査ヲ今行ッテ居ル日
本ノ試験ヲ受ケタル人が支那ノ内地間ヲ航行スル船ニ乗ッテ居ル、ソレガ噸數ニ於テ小
サイ船ニ於テハ支那ノ方ノ海事局其他税關ヨリ干涉ヲ受ケルヤウナコトガ條約ニ載ッテ
居ルヤウニ見テ居ル、ソレデ此現ニ楊子江ヲ通ッテ居ル日本ノ船ニ於テハ如何ナル規定
ガ實行サレテ居ルカト云フコトヲ伺ッテ置キマス、ソレデケガ外國ニ關係スル事デチヨット伺
ヒタイ

○政府委員(内田嘉吉君) 段々ノ御尋デゴザイマシテ或ハ御答ノ順序ガ違フカハ知
レマセヌガ、第一ハ外國船ニ對シマシテ如何ニ此船舶職員ノ法ヲ適用スルカト云フ御尋
ネノヤウニ思ヒマス、茲ニ船舶検査法第十七條ニ掲ゲテゴザイマス所ニ依ルト外國船
舶ト申シマスノハ三種ホド包含シテ居リマス、第一ハ日本人ガ借入レマシテ内地各港若
クハ内地ト外國トノ間ヲ航海スル、第二ハ内地間ノミヲ航海ヲ致シマスル船、第三ハ移
住民ヲ搭載イタシマスル船、此三様ニナッテ居リマス、唯今御説明ノアリマシテ通リ外國
船舶ニハ矢張り外國ノ法律ガソレノゴザイマシテ、各其國ノ規定ニ依ッテ相當ノ職
員ヲ乗込マセキコトニナッテ居リマス、此原案ヲ研究イタシマス時分ニモ御質問ノ如
キ點ハ十分攷究イタシマシテ、外務當局トモソレノ打合セヲ致シマシタノデゴザイマス、
ガ固ヨリ此日本ト外國トノ間ヲ航海イタシマスル場合ニハ、是ハ外國法律ニ對シテモ適
用スルト云フコトハ事實困難ナコトモアラウカト考ヘマス、併ナガラ此日本ノ沿岸ヲ航海
イタシマスル船ニ向ヒマシテハ、縱令外國ニ如何ヤウナ法律ガ存在シテ居リマシテモ其領
海ヲ航海シテ居ル間ハ其領海ノ所有者タル所ノ國ガ相當ノ取締ヲ設クルコトハ慣例ニ
モゴザイマスシ、又實際外國ニ於テモサウ云フ取締ハ無論設ケテ居リマス、唯日本ガ從
來検査ニ付テ取締ノ出來テ居リマスノ職員ニ付テ欽ケテ居ッタ云フニ過ギナイノデア
リマス、或場合ニハ御話ノアリマスルヤウニ外ノ國ノ職員ヲ乗セナケレバナラヌ、日本ノ職
員モ乗セナケレバナラヌト云フヤウナ場合或ハ生ズルカモ知レマセヌケドモ大體今日ノ
如ク外國人が所有シテ日本沿岸ヲ航海シテ居リマスル船ハ多クハ小サイ船デゴザイマシ
テ、外國ノ法律ニ於キマシテモ除外ノ例ヲ設ケテ實際ニ於キマシテハ外國人ノ所有ニ屬
シテ居ル船デ、固ヨリ是ハ營業ノ、商賣ノ用ニ使用スルノデハゴザイマセヌガ、政府ノ特許
ヲ得マシテ遊船ニ使ッテ居ル相當ナ船モゴザイマスガ、悉ク例外ハ無キニシモ非ズデゴザイ
マスガ、日本人ノ日本ノ免狀ヲ持ッテ者ハ實際既ニ乗セテ居リマスノデゴザイマス、尙ソ
レガ法令トシテ制定ハゴザイマセヌデ斯ル場合ニ向ッテ主トシテ此規則ヲ取極メルノガ本
條ノ規定デゴザイマス、ソレカラ移民ヲ搭載イタシマス船、是ハ外國ノ法令ニ於テ場合ニ

依リマシテハ國ノ相當ノ保障ヲ得タ船長ヲ乗セナケレバナラヌト云フコトニナッテ居リマス
ガ、若シ今日ノ移民船ノ如キ船ニ向ッテ、ハヤ外國船ニ對スル船舶職員法ノ或ル部分
ヲ行フコトニナルト是ハ前申上ゲタ内地沿岸ヲ航海シテ居リマス船ニ對スルヨリハ幾分か
制限ヲ設ケテ規定ヲ設ケナケレバナラナイト思ヒマス、要スルニ第一點ニ御尋ガゴザイマシ
タ外國船ニ適用スルト云フコトヲ主トシテ内地沿岸ノ航海ニ從事スル船舶ニ向ッテ相當
ナ取締規定ヲ設ケルト云フコトヲ本條ノ趣旨デアリマス、ソレカラ第二點ハ雇外國船ノコト
ニ付テ船舶職員ノ關係ハ如何ト云フ御尋デアルト存ジマス、是ハ御話モ致シマシタ通り
此第八條並ニ第九條ニ據リマシテ船舶賃借ノ場合即チ賃借人が責任者トシテ此制
裁ヲ受ケルト云フコトニナリマス、ソレカラ官船ヲ、即チ政府ノ所有ニ屬シテ居ル船ヲ民
間ノ會社若クハ個人ガ借受ケテ運轉スル場合ニドウデアラカト申シマスル、政府ノ所
有ニ屬シマス船舶モ二様ノ検査ニ分ッテ居リマス、即チ一ハ海軍ノ所屬ニナッテ居リマ
ス、所謂海軍管船艇ト稱スルモノ、之ニ付キマシテハ海軍ノ方ニソレノ規定ガゴザイ
マシテ此普通ノ船舶職員法等ハ適用イタシマセヌコトニナッテ居リマス、其外ノ船舶ニ付
キマシテハ總テ検査法モ船舶職員ノコトモ悉ク適用スルコトニナッテ居リマス、而シテ若シ
之ヲ民間ノ人が借りテ運轉イタシマス場合ハ矢張り賃借人トシテ相當ノ簡條ニ據ッテ制
裁ヲ受ケル、若シ規則ニ違反シタ場合ニハ受ケルコトニナッテ居リマス、又次ニハ民間ノ
所有ニ屬シマス船舶ヲ政府ガ借受ケル場合デゴザイマス、是ハ矢張り種類ヲ申シマス時
今申上ゲマシタノ通り二通りノ使ヒ方ガアル、海軍ノ所屬トシテ使ヒマス時ニハ船舶検査
法、船舶職員法共ニ適用セヌコトニナッテ居リマス、併ナガラ海軍ノ所屬デゴザイマシテ
モ又他ノ官廳ノ所屬デゴザイマシテモ普通ノ航海ニ從事セシムル場合ニハ矢張り此船舶
職員法ガ適用セラルノデアリマス、併ナガラ此賃借ノ方法ニハ概シテ皆船員ヲ船舶所
有者カラ船舶ヲ供給スルト同時ニ差出シテ政府ガ運轉スルト云フコトハ總テ船舶所
有者ノ責任トシテ借受ケルコトニナッテ居リマス、同シ賃借デゴザイマスガ、方法ガ此場
合ニ於キマシテハ他ノ場合ト異ッテ居リマス、ソレカラ検査ノコトモチヨット御尋ネノヤウデ
ゴザイマシタ、此政府ノ使用並ニ其検査モ矢張り船舶職員ニ對シマシテ申上ゲタノト同
ジヤウニ海軍管船艇トシテ取扱ハレル船舶ハ縱令其所有者ガ民間ノ會社個人デゴザイ
マシテモ検査ハ致シマセヌ、併ナガラ其他ノ船舶即チ普通ノ航海ニ供用イタシマス分ハ悉
ク一般船舶ト同ジヤウニ船舶検査法ニ據ッテ検査ヲ執行イタシテ居リマス、ソレカラ第三
ハ外國各港ノ間ニ航海イタシマス船舶ニ付テ御尋ネデゴザイマスガ、御説ノ通り主トシ
テ今日ニ於テ此規定ヲ必要ト致シマスノハ楊子江並ニ支那流デアリマス、其楊子江ノ此方
ハ検査ノコトノ御尋ノヤウデゴザイマシタカラ其方ダケ申上ゲマスガ、楊子江ノ船舶ニ付
キマシテハ上海ノ帝國領事館ニ特ニ此外務省遞信省協議ノ下ニ船舶検査ニ從事スベ
キ海事官ヲ在勤セシムルコトニ獎勵ガナッテ居リマシテ現ニ在勤者ガゴザイマス、其者ハ
成規ニ據ッテ検査ヲ實行イタシマスコトニナッテ居リマス、支那ノ税關ノ規則ニモ矢張り
船舶検査ヲ要スルヤウナ規定ガゴザイマスガ、ソレハ段々打合セノ結果、日本ノ海事官
ガ検査イタシマシテ其證明ヲ持ッテ居リマス船ニハ更ニ検査ヲ致サヌコトニ打合セガナッ
テ居リマス、尙漏シマシタカ知リマセヌガ、御尋ニ應ジマシテ御答ヲ致シマス

○黒岡帶刀君 少シ本文ノ明文ニ據リマスル御説明ノ如ク詳細ニ明瞭ニハナッテ居

ナイト考ヘマス、此明文通りニ實行シマスレバ内國ダケニ航行スル外國船舶ト云フコトハ見エナイ、外國デモ内地ノ港デモ船舶検査法第十七條ニ於テ日本ト「外國ト」間ニ使用スル外國船舶ト云フ明文モゴザイマス通り必ズ日本ノ港ノ間ヲ航海スル外國船舶ト云フコトモ見エナイ、又重キヲ置クト云フコトモ見エナイ、文字ノ上カラ公平ニ考ヘレバトチラニ適用シテモ宜イ、外國ト日本トノ間、又内地ノ横濱ト神戸ノ間、ドチラデモ一樣ニ準用スルコトが出来ル、本文ノ上カラ見マスレバ……、ソレデ他ノ外國ノ規則ニ其船長タル者ハ必シモ其國旗ヲ代表スル所ノ國ノ人民デナケレバナラヌト云フコトハ制限シテ無イ、船ニハ少シモ差支ナイト思ヒマス、萬一佛蘭西ノ如クニ國籍證書ヲ受ケルニ付テ第一船長ガ本國人デナケレバナラヌ、第二乗組人ノ三分ノ二ガ佛蘭西人デナケレバ國旗ヲ立テルコトヲ許サヌト云フヤウナ規定ノ外國ニ於テハ、第一、佛蘭西ノ國旗ヲ立テ、居ル以上ハ日本人ノ船長ヲ乗セルコトモ出来ズ、又佛蘭西ノ國旗ヲ立テ、居ル船ニ英國ノ船長ヲ乗セルコトモ出来ナイヤウナ考ヘマス、サウ云フ場合ニ於キマシテ即チ佛蘭西ノ人ヲ雇入レルカ、又日本ニ買受ケテ仕舞ウテ日本ノ旗ヲ立テルカ、ドチカシナケレバ佛蘭西ノ旗ヲ立テ、居ル譯ニハイカナイ、ソレデ佛蘭西ノ旗ヲ立テル以上ニ於テハ矢張り乗込船長ガ佛蘭西人ガ不適當アレバ更ニ他ノ佛蘭西人ヲ持ッテ來ルヨリ外ナイ、英國人ヲ持ッテ來ルコトモ日本人ヲ持ッテ來ルコトモ出来ナイ、サウナクテハ其船主タル者ハ佛蘭西ノ法律ニ觸レテ仕舞フ、ソレデ本文ノ明文ニ據レバ其區別ガ無イヤウデアリマスカラ、委員ニ於テハドウモ是等ノ見解ニ於テハ少シシグドウモ一致ノ缺點所ガアルノデアリマスカラ、ソレカラ一ツ何シマセウネ、此第七條ノ外國各港間ノミヲ航行スル船舶ノ検査ノコトバカリデナク既ニ乗組ンデ居ル船長及其他ノ職員等ニ於キマシテ是ニハ支那ノ方ヨリ特別ニ許可ヲ得ナクテヤナラヌト云フコトノ制限ハ無イデアリマスカラ、又今現ニ日本ノ船舶バカリデハナク獨逸ノ船或ハ英吉利ノ船モ同一ノ營業ヲヤツテ居ル譯デアル、其船ノ検査若クハ職員ノ免狀等ハドウナツテ居ルカ、ソレガ分ツテ居リマスレバ參考ノ爲ニ承リタイ

○政府委員(内田嘉吉君) 御答ガ少々不十分デゴザイマシタカラ重テ申上ゲマス、第九條ノ一二付キマシテハ文章ヲ此通りニ讀ミマスルト云フト、如何ニモ御懸念ノヤウニ衝突スルカノ如キ場合ガ生ジマスルガ、之ニ付キマシテハ特ニ其法條ノ中ニ「此ノ法律又ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ノ規定ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ何々ニ準用スルコトヲ得」之ヲ特ニ命令ヲ以テ定ムル場合ニ限ツテ之ヲ準用スルコトヲ得ルト云フコトニ致シマシテハ如何ナル方法ニ此命令ヲ以テ準用スルコトヲ得ルト云フコトハ、別ニ此法案制定ノ上ニ尙調製スル積リデアリマス、或ハ必要ニ應ジテハ外國船舶ト雖モ日本人ノ借用シテ居ル間ニハ相當ノ取締ヲ必要トスル場合ガアルカモ知レマセヌ、差當リ此箇條ヲ必要ト致シマスルト之ニ付テハ先キホド申上ゲマシタ主トシテ沿岸航路ニ屬スルモノハ、ソレハ其命令デ以テ其箇條ハ差支ナイ積リデアリマス、第二ハ第七條ノ外國各港間ノミヲ航海シテ居ル乗組員ノコトデアリマスガ、是ハ從來ノ支那ノ楊子江又ハ他ノ港ニ付イテ支那ノ法制トシテ乗組員ニ付イテハ別段ノ規定ハゴザイマセヌ、隨テ日本デハ日本ノ例規ニ依リ、又外國ハ外國ノ例規ニ依ツテソレノ乗組員ヲ編制シテ居ルコトニナツテ居ルノデ、矢張り外國船ニ於キマシテ英吉利船トカ佛蘭西船トカ云フモノニ於キマシテモ、ソレノ領事

ノ取締ノ下ニ相當ノ職員ヲ乗セ又相當ノ検査員ノ検査ヲ受ケルコトニナツテ居ルノデアリマス

○黒岡帶刀君 尙第九條ノ一二付イテ「此ノ法律又ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ノ規定ハ命令ノ定ムル所ニ依リ」斯ウアリマスカラ、今ノ御説明ニ依ツテ目下ノ所、未ダ何等ソレ等ノ規定ガ明ニ定メ居マセヌ、故ニ万一是ガ帝國議會ヲ通過シマシテ法律ニナリマシタ以上ニ於テ詳細ナ命令ハ政府ニ委任セララルコトニ協贊ヲシタ以上ハ、其命令ノ方針ト云フモノハ唯今本員デ申述べタヤウナ譯デ、外國ニ於テ其國ニ法律ガアル以上ニ於テハ成ルベク其法律ニ背カザル所ノ精神ニ於テ命令ヲ御起案ニナルコト、考ヘマス

○政府委員(田健治郎君) 段々黒岡君カラノ御質問デゴザイマシテ、管船局長ノ説明デ略々分リマシタデゴザイマスガ、要スルニ此外國船舶ノ検査ト云フコトハ検査法ヲ制定シマスル時ニモ殆ド御疑問ト同ジヤウナ論モアッタデゴザイマス、ケレドモドウシテモ此検査ヲ行ハナケレバナラヌト云フコトデ、段々外務當局者トモ交渉ヲ致シマシテ検査法第十七條ト云フモノが出来タノデゴザイマス、ソコデ即チ外國船ニモ検査ヲ及ボスト云フコトガ検査法ニ依ツテ爲シ得ルト云フコトニナツタデアリマス、サウシテソレハ著々實行ニナツテ居リマス、然レニ今日ノ所デハ職員法ノ方ハマダ外國船ニ及ンデ居ラヌト云フコトニナツテ居リマス、ソコデドウシテモ之ヲ及ボサネバナラヌト云フ場合デゴザイマスガ、其及ボサニヤナラヌ程度ニモ外國船ノ種類ノ中ニモ餘ホド強ク及ボサナクテハ取締ガ立タヌト云フ譯デ、是ガ強イ者ト弱イ者トアリマスル、今管船局長ガ申上ゲタ此内地ニ居ッテ内地ノ沿岸航海ヲヤツテ居ルト云フ如キガ最モ其強イモノデアリマス、是ハ固ヨリ内地ノ外國人ガ外國船舶デ以テ貿易航海ハ出来ヌノデゴザイマスル、營業トシテサウ云フモノハ日本ハ雇ハレタ船舶ナラババ知ラズ外國人ガ所有シテ外國人ガ運轉シテ居ルモノヲ以テ内地ハ航海ハ出来ヌノデアリマスガ、他ノ一番多イハ遊山船デゴザイマス、よッテナドヲ使フテ四方ヲ遊ビ廻ルトカ、マア一ツアルハ極小サナ船デアルト云フモノガゴザイマス、サウ云フモノニ至リマスルト、外國人ト雖モ内地デ使フコトハ出来マスルガ、是ガ職員法ノ適用ガ無イト餘ホド危險ヲ感ズルノデゴザイマス、ソレデ之ニ向ッテハドウシテモ殆ド全部ト云フテ宜カラウト思ヒマスガ、是ハ固ヨリ命令ノ定ムル所デ或ル程度ヲ付ケルカハ知レマセヌガ、一番是ハ強ク職員法ヲ適用セヌト、何モ航海ヲ知ラナイ素人ガ唯々乗合セテ勝手次第ノ航海ヲスルト云フコトニナリマスルト、獨リ其船自身ガ危險ノミナラズ即チ航路ヲ運航スル他ノ船舶ニ危險ヲ及ボスト云フ虞ガアルノデゴザイマスカラ、是ハ最モ嚴格ニ適用シナケレバナラヌ部分デゴザイマス、ソレカラ又或ハ日本人ガ雇入レテ日本各港ノ間ニ往復スルト云フ如キハ此遊山船ノ日本間バカリニヤツテ居ルノトハ程度ハ違ヒマセウガ、是等モ相當ノ取締ヲセニヤナリマセヌ、ト云フ譯デ同ジ十七條ニ掲ゲテアルモノデモ程度ハ違ヒマス、移住民ヲ乗セル船舶ト云フ如キハ全ク健康上或ハ危害上ノコトモゴザイマセウガ、検査法カラ申シマスレバ主トシテ健康上ノコトヲ注意セニヤナラヌト云フヤウナ譯ニナリマスルデ其程度ノ強イト弱イトガ即チ命令デ以テ定メルモノデアリマスカラ、是ハドウシテモ其國ノ國籍ニ屬スル所ノ法律ニ依ツテ取締ヲ其船自身ガ受ケルノト、而シテ日本デ特ニ定メタ此法律ニ依ツテ取締ヲ受ケルノト、成ルベク牴觸セヌ範圍デ制定シテ行カナクチャナ

ラヌコトハ勿論アラウト思ヒマスガ、或ル場合ニ於テ全ク抵觸が無イトハ言ヘマセヌ、ケ
レドモ外國船長ニシマシタ所ガ決シテ日本デハ乗ラサヌトカ仕事ヲサセヌトカ云フコトハ無
イノデアリマシテ、外國ノ船長デアラウガ或ハ機關士、運轉士デアラウトモ相當ノ免狀ヲ
持ッテ居ル者ハ矢張り日本デ其相當ノ免狀ヲ認メテ居ルノデアリマス、此法律ヲ適
用シタカラト云フテ外國ノ乗組人ガマルデ役ニ立タヌ者ニナルト云フヤウナコトハ無論
生ジナイノデアリマス、ソレデ詰リ此九條ノ上ニ於キマシテハ法律デ少シ動キ付カヌヤ
ウナモノニナリマス、ソレデ、實際施行ノ上ニ於テ御懸念ノヤウナ虞ガアルト存ジマス
ガ故ニ、命令ヲ以テ其輕重寬嚴ノ差ノ行ハレ得ル相當ノ適度ヲ定メマシテ、サウシテ實
際差支ナイヤウニ致シタイ考デゴザイマス、ドウカ其段御諒承ヲ願ヒマス

○黑岡帶刀君 是マデハ專ラ外國ニ關係シタコトヲ御質問イタシマシテ御答辯ヲ得テ
分ッテ次第デアリマス、殊ニ第九條ノ方針ノ如キニ於キマシテハ本員ノ述ベマシタ精
神ニ於キマシテ、政府委員ニ於テモ一致シテ將來此法律ニ基イテ外國ノ乗組人マ
スル所ノ艦船ト第十七條ニ掲グル外國船ノ輸入スルコトヲ得ル、此法律ノ箇條ニ基イテ發
ラレル命令ニ於テハ今政府委員ノ御説明通りニ彼我ノ……成ルタケ彼我ノ法律ニ抵
觸セヌ範圍内ニ於テ規定ヲ設ケルト云フ御説明デアッタニ就テハ本員ニ於テモ了解イ
タシマシタ、成ルタケサウ希望スルノデアリマス、是カラ又其大體ニ就テ幸ニ此所ニ海軍
ノ政府委員モ御出席ニナッテ居ルコトデゴザイマス、同ジク命令ヲ以テ御發シニナル
トニ就キマシテ本員ハ意見ヲ述ベマシテ、サウシテ將來政府ニ於テモ成ルタケ……

○委員長(伯爵德川達孝君) 御意見ハ御アトニナスッテハ如何デスカ

○黑岡帶刀君 ソレナラ質問ヲ致シマス、唯今政府委員ニ於テ命令ヲ以テ定メルコト
ニ就テ御答辯ガアッテ分リマシタガ此第一條第一項ノコトヲ御質問ヲ致シマス、是ニモ
「命令ヲ以テ定メル場合ヲ除クノ外」トゴザイマス、此命令ト云フモノハ廣ク見解イ
タシマス、政府ノ命令ハ勿論總テア含シテ居ル、勅令省令其他總テア含シテ居リマシテ、法律以
外ノ命令ト本員ハ見解ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレデ此法律ヲ以テ「日本船舶ニハ
命令ヲ以テ定メル場合ヲ除クノ外」斯ウアリマシテ、廣ク是ハ立法官ヨリ行政府ニ委任
ヲ致シマシタモノデアリマス、若シ此法律ガ成立シタ通過イタシマシタ以上ニ於キマ
シテハ、行政官ニ於テハ責任ガ重クナル譯デアル、ソレデ此命令ト云フモノハ廣ク本員ハ
見解イタシタイト云フノデ、勅令其他省令等ヲ以テ殊ニ管船局或ハ遞信大臣ノ命令ニ
限ラズ總テ勅令其他法律以外ノ命令ヲ含シテ居ルモノト考ヘルノデアル、ソレデ議會ニ於
テ法律ノ外ニサウ云フ命令ヲ發スルコトヲ委任シタル以上ニ於テハ其方針ト云フモノハ
成ルタケ本員等ガ希望スル所ノ點ニ背馳セヌヤウニアリタイト云フノ希望ヲ懷イテ居ル
デアリマスガ、其邊ニ於テハ此命令ノコトニ就テハ如何デアリマス、御答辯ヲ伺ヒタイ

○政府委員(内田嘉吉君) 第一條ニ此度此命令ノ定メル所ニ依リマシテ本法ノ規
定ヲ除外スルコトノアル場合ヲ茲ニ設ケマシタ理由ヲ申上ゲマス、此箇條ニ對シマスル規
定ヲ必要ト致シマシタ理由ハハ既ニ其現行ノ法律ニ於テモ其意味ハ包含サレタノデア
リマス、現行法ニ於キマシテハ此第一條以下ハ表ニ示シマスガ如ク航路、船舶ノ噸數
ニ應ジマシテ何レノ場合ニ於テモ絕對ノ此法律ニ規定アル所ノ人ヲ乗セナレバナラヌ
ノデアリマス、併ナガラ此實際ノ上カラ見マスルト云フト其絕對ノ此本法ノ規定ヲ適用

スルト云フコトハ出來ヌ場合ガゴザイマス、事實上實行スル能ハザル場合ガアリマス、即
チ其二三ノ例ヲ申上ゲマス、ソレト外國ニ於テ船舶ヲ製造イタシテ日本ニ回航イタシマ
ス場合ニ豫メコトカラ分ッテ居ル場合ニハ人ヲ送ルコトモ出來マス、或ル場合ニ
ハ其實行ガ出來ヌト云フヤウナコトガアリマス、日本ニ回航スル即チ相當ノ職員ヲ得マス
マデ此乘組員ノ中、或ル部分ヲ缺クト云フコトノ已ムヲ得ヌ場合ガアリマス、ソレカラ航海中
此乘組員生ジマシタ場合ニ、外國ニ在リマシテ相當ノ人ヲ乘組マセルト出來ヌト云フ場
合ガ起リ得マシマス、又或ハ此内地ニ於キマシテモ船舶ヲ此相當ナル場所ニ繫留シテ居
ル即チ其碇泊ヲ相當ノ方法ニ依ッテ勿論是ハ一時デハ行ケマス、マイケレドモ或ル期間碇
泊ヲサセテ置クト云フ場合ニ必シモ此職員全部ヲ乘組マス必要ガ無イヤウナ場合モゴザ
イマス、從來ハ此明文ガ無イ爲ニ往々果シテ其船舶ニ職員ヲ乘組マスモノデアラヤ否
ヤト云フコトハ裁判上ノ疑問ニナッタコトガゴザイマス、斯ル場合ニ對シテ此命令ヲ以テ
此除外ヲ致サウト云フ考デ居リマス、是ハ此検査法ニ於キマシテモ矢張り同ジヤウナ已
ムヲ得ザル所ノ場合ニ對シテ命令ヲ以テ除外スルコトノ規定ガ設ケラレテ居リマス、其權
衡上矢張り明文ヲ以テ其場合必要アリト認メタノデアリマス

○黑岡帶刀君 今ノ御説明ヲ願ッテ主意ハマダソレノミニ限ッテハ無カッタノデア
リマス、此命令ト云フモノハ誰ガ發スルノデアルカト云ヘバ單ニ遞信大臣若クハ管船局等
デ發セラレル命令ニ限ラズシテ廣ク勅令其他ヲ以テ發スルハ勿論、其内ニハ又遞信大
臣又ハ管船局長ノ令達其他等モアリマセウガ、廣ク命令ト云フモノハ含シタモノト考
ヘテ居ルノデアリマス、本員ハ……

○政府委員(田健治郎君) 御説明通り命令ト申シマスル定義カラ申シマスレバ無論
勅令省令以下行政命令ハ總テ含シテ居ルノデアリマス、併ナガラ事實ノ上カラ申シマ
スルト云フト、此第一條ニアリマス「命令ヲ以テ定メル場合ヲ除クノ外」ト云フヤウナ
ハ詰リ法律ヲ以テ一般ニ適用スベキモノヲ取除クト云フ餘ホド重イコトデゴザイマス、
ソレデ斯ウ云フ重イ命令ハ勅令若クハ省令、先ヅ省令ト云フノガ、今日マデニ遣リ來ッ
テ居ルノガ多ク省令デゴザイマスガ、ソレガ事實ニ於テ多カラウ、又ソレ位ナ重イ力ヲ持
タスガ宜カラウト云ヒマス、今管船局長カラ申シマシタヤウニ、事實ニ於テ命令ヲ以
テ取除ケル場合ハ何ダト云フト、唯今ノ二箇條ホドノコトデ、今日ニ於テハ先ヅ認メ
ラマス、先ヅ命令ヲ以テ定メル場合ガ多カラウト思ヒマスガ、併シ此命令ト云フコト
ヲ解釋スルニ就テハ無論勅令モ省令モ、其他ノ行政命令モ命令ノ中デアルト云フコト
ニ就テハ全ク論ハ無イノデアリマス

○黑岡帶刀君 單ニ私ハ命令ノ解釋ノミヲバ御説明ヲ仰イダ精神デハナイノデス、此
船舶職員法ニ就キマシテハ成ルタケ勅令ヲ以テ發セラレムコトヲ望ムノデ本員ハアルノ
デアリマス、ナゼカナラ船舶職員ノ中ニハ第五條ニ「海軍艦船艇ニ乘組ミ運航若ハ機
關運轉ニ從事シ」ト斯ウ云フコトモ書イテアルノデアリマス、海軍ニモ關係ガアルコト
デアリマス、ソレデ勅令ヲ以テシマスレバ海軍大臣ニ於テモ是ハ能ク分ッテ居ルコトデア
リマス、一層宜シカラウト考ヘルノデアル、ソレデ成ルタケ勅令ヲ以テ定メラレムコト
ヲ望ムノデアリマス、省令ニ限ラズ成ルタケ勅令ヲ以テ發セラレムコトヲ望ムノデアリマ

ス、其理由ト云フモノヲチヨット申上ゲタイト考ヘマス

○委員長(伯爵德川達孝君) 御意見デハアリマセヌカ

○黒岡帶刀君 説明ヲシナクチャナラヌ、其理由ヲ申上ゲル

○委員長(伯爵德川達孝君) 御意見ナラ後トテ宜カラウト思ヒマス

○黒岡帶刀君 ナゼ私が勅令ヲ以テ成ルタケ發セラレムコトヲ望ムト云フ理由ヲ述ベタ
イ、此法律ヲ以テ行政官ニ命令ヲ發スルコトヲ委任セラレマシタ以上ニ於テハ、ソレヲ協
賛シタ所ノ議會ニ於キマシテモ餘ホド責任ヲ持タナケレバナラヌ、此結果ニ對シテハ何モ
直接ニハアリマセヌカ、間接ニハアリマス、ソレデ今日此船舶職員ト云フモノハ海技免狀
ヲ持ッタル人ニ限ッテ居リマス譯デアリマス、其海技免狀ヲ受ケタル者ハ、今申上ゲタ通
リニ海軍ノ艦船艇ニ乗組ンデ居ル者モ這入ッテ居ル譯デアリマス、今日ニ於キマシテハ
此船舶職員ハ勿論、其他ノ海員等ニ於キマシテモ、成ルタケ軍事ノ目的ニ適フヤウニナ
クテハナラヌと思フ、日本ニ於キマシテハ英吉利トカ亞米利加等ノ志願兵組織ノ國ト違
ヒマシテ全國皆兵、サウシテ徵兵令、徵發令等アリマシテ平時ニ於キマシテ總テノ法
律ト云フモノガ軍人ニ適合スルヤウニ成ルタケ制定シテアルノデアリマス、ソレデ佛蘭西ヤ
獨逸ノ如ク徵兵令又ハ徵發令ヲ行ヒマス國ニ於キマシテハ、平日ヨリ船舶職員等ハ戰
時ノ目的ニ適フヤウニ成ルタケ平時ニソレヲ履行シテ居ルヤウデアリマス、ソレデ今日我
邦ニ於キマシテハ、學校ノ生徒ガ二十歳ニナルト徵兵ニ出ル必要ガアルカラ、小學校時
代ヨリ兵式體操ヲ爲シ、精神教育ヲ爲シ、二十歳ニナリテ徵兵ニ適シタ場合ニ於キマ
シテハ既ニ幾分ノ教育ヲ受ケテ居ルト云フ譯デアリマスカラ、ソレデ今日ハ補充兵、新兵
等ハ從前六箇月ヲ訓練シタモノガ、或ハ二箇月ヲ養成ガ出來ルカモ知レヌ、ソレデ船舶
職員ニ於キマシテモ佛蘭西等ニ於キマシテハ、政府ヨリ補助ヲ受ケルモノニ於キマシテハ若
干員ハ平時ヨリ海軍ノ兵籍ニ在ル者ヲ乗セルト云フコトノ規定アルノデゴザイマス、ソレ
ハナゼカト申シマスレバ、戰時動員ヲ行ヒマス場合ニ於キマシテ十分ノ幾分ト云フモノ
ハ既ニ動員ガシテアリマス、後トノ幾分ヲ動員スレバ全部動員ガ出來ル譯デアリマス、
且又平日ヨリ船舶ノ操縦等ニ慣レテ居リマスレバ一層便利デアル、ソレデ今日ノ日本ノ場
合ニ於テハ成ルタケ徵兵令徵發令ノ履行ニ便利ヲ與ヘルト云フ目的ヲ以テ法律ヲ制定
スルガ必要ト考ヘテ居リマス、ソレデ造船獎勵金ノ如キニ於キマシテモ、造船規程ト云フ
モノガ遞信大臣ノ制定セラレタル所ノ規定ニ依ッテ與フルヤウニナッテ居リマス、ソレ等ノコ
トガアル故ニデスネ、遞信省ニ於キマシテハ軍事上ノ目的ニ十分出來ルタケ適應スルヤウ
ニ拵ヘタデアラウト考ヘマスガ、遺憾ナガラ未ダ今日ノ程度ニ於キマシテハ獎勵金等ノ效
果ヨリシテ、假裝巡洋艦等ノ艦ガ少ナイ故ニ、唯今民間ニ於テハ義勇艦隊ヲ組織スル
トカ言ウテ、國稅ノ外、更ニ人民ヨリ海軍ノ補助トシテ義捐ヲ募ルト云フ場合ニモナッ
テ居ルノデス、ソレデ今日ノ佛蘭西ノ場合ニ譬ヘマスレバドウナッテ居ルカト云フト、造船獎
勵金ト云フモノハ海軍大臣ノ定メタル規定ニ依ッテ造船シタル者ニ與ヘルト云フコトニナッ
テ居ルノデアリマス、ソレカラ今日ノ郵便船ノ如キ補助ト云フモノハドウカト云フト、海軍ノ
假裝巡洋艦其他ニ適應スル船舶ニ限ッテ郵便ノ運送ヲ許スト云フ規定ガアリマス、ソレニ
對シテ又航海獎勵金ト云フモノヲ與ヘル、ソレ等ノ點ガアリマシテ議會ガ今日政府ニ委
任シタル以上ニ於キマシテハ、造船獎勵金、航海獎勵金ノ結果ノ如クニ、幾分力ニカラ

改良ヲ要スル點モアラウト考ヘテ居リマスルガ、今日ハ成ルタケ船舶職員ト云フモノヲバ
乗組マシマスル上ニ就キマシテハ追々其動員ノ場合ニ差支ノ無イヤウニ便利ヲ與ヘルヤウ
ナ方針ヲ以テ閣議ニ於テ遞信大臣ハ勿論海軍大臣等ニ於テモ協議ヲ致サレテ此命令
ヲ發セラレタラ宜カラウト考ヘマスカラ、ソレデ私ハ成ルタケ勅令ヲ以テ定メラレタ方ガ
宜カラウト考ヘマス、幸ニ御説明ニ依ッテ見ルト勅令モ含ンデ居リ又省令モ含ンデ居リマ
スカラ、決シテ此命令ヲ以テ發スルコトヲ御委任ニナッテモ差支ハ無カラウト本員ハ考
ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ其精神ト云フモノヲバ能ク御了解ニナッテ今申上ゲタ方針ニ
成ルタケ適合スルヤウニアリタイコトヲ本員ハ希望シマス、ソレ故ニ本員ハ之ニ同意ヲ表
スル考デアリマス、是カラ第三條ハ質問デアリマスガ、第三條ニ「遞信大臣ハ海技免狀ノ
效力ニ制限ヲ加ヘタルモノヲ授與スルコトヲ得」ト云フ此海技免狀ノ效力ト云フモノハ
一年限リトカ二年限リトカ云フ制限デアリマス、ト云フコトヲ承リマス、其制限ト云フ
モノヲ……、ソレカラ又一ツ此「他ノ種類ノ免狀」ト云フモノガアリマス、是ハ甲種乙種
ト云フヤウナ風ニ種類ガアル外ニ何種トカ云フ特別ノ名稱ガアルモノデアリマセウカ、ソコ
ヲ伺ヒタイ

○政府委員(内田嘉吉君) 唯今此第一條ノ命令ノ事ニ付キマシテ黒岡君ノ御意見
ニ對シテハ尙ホ海軍ノ政府委員カラモ申上ゲルデゴザイマセウカ、從來ト雖モ此海軍ニ
關シマシテハ海軍遞信兩省デ合議ヲ致シマシテ必要ナル場合ニハ調査ヲ致スコトニナッ
テ居リマス、既ニ此乘組職員ノ事ニ付キマシテハ先頃海軍ノ豫備員條例ト云フモノガ出
マシテ、御承知ノ通り商船カラ海軍ノ相當ノ職員ニ採用スルヤウニナリマシテ、隨ッテ
海軍ノ所屬職員ト商船ノ所屬職員トノ間ニ密接ナル關係ヲ生ズルヤウニナリマシタカ
ラ、其邊ハ必要ニ應ジマシテ充分協議ヲ致シマシテ、成規ニ依ッテ法令ヲ發スルコトニナル
ト考ヘマス、第三條ノ海技免狀ノ效力ヲ制限スルト云フコトハ、是ハ人ノ履歷ニ依リマ
シテ制限ヲ加ヘタ免狀ヲ與ヘル積リデアリマスカラ、無論其人ハ其免狀ヲ永久ニ所有ス
ルコトガ出來ルノデアリマス、一時時ヲ期シ與ヘルト云フ趣旨デアリマセヌ、ソレカラ第
四條ニ他ノ種類ノ免狀ヲ以テ代用スルコトガ出來ルト規定イタシマシタルハ昨日モ又今
日モ申上ゲマシタ通り、此表ニ免狀ノ種類ト職務上ノ名稱トガ規定シテゴザイマシテ、
此表面カラ見マスルト、此免狀ヲ所有シタル者デナクテハナラヌトナッテ居リマス、併ナガラ
其項ノ情況ニ依リマシテハ茲ニ書イタルノガ正則デアリマスガ、必シモ之ニ依ラヌデモ
差支ナイ場合ガアリマス、昨日モ例ヲ以テ申上ゲマシタ通り近海航路以下ノ船舶ニ於
キマシテハ乙種ノ免狀ヲ持ッテ居ル、例ヘバ船長ノ免狀ヲ持ッテ居ル者ハ甲種ノ運轉士
ノ免狀ヲ持ッテ居ル者ト同ジヤウニスルト云フコトモ此一項ヲ設ケマシタ趣旨デアリマス
カラ左様御承知ヲ願ヒマス

○子爵平松時厚君 第五條「海員名簿」ト「海技免狀原簿」トアリマスガ、其海技
ト云フト技師ノ免狀ノヤウニ見エマスガ、ドウ云フ是ハ工合デアリマスカ

○政府委員(内田嘉吉君) 是ハ他ノ法律ノ改正カラ致シマシテ此改正ヲ必要トスル
ノデアリマシテ、從前ハ此海員ト申シマスル文字ガ船長運轉士其他ノ者マデ含ンデ廣ク
ナッテ居リマシタ、デ此法律ヲ制定イタシマスル時分ニハ海員ト云フモノハ艦長モ船長モ
含ンデ居リマシタガ、其後商法ガ制定ニナリマシテ、文字ノ使ヒ方ガ商法ニ於キマシテ船

長ヲ除外シマシタ船ノ乗組人ト云フコトニナッテ居リマス、此法律デハ船長ナドが最も必要デゴザイマスカラ其除イタ者ノ名前ヲ茲ニ置キマスルノハ事實ニ多少不相當ニナリマスルノデ、廣ク海技免狀即チ免狀ト云フノガ土臺ニナッテ居リマスカラ、即チ從來使用シ慣レマシタ海技免狀ト云フ文字ヲ使ヒマシタニ過ギマセヌ

○政府委員(齋藤實君) 今黒岡君カラ御意見ノアリマシタコトニ付キマシテ御質問ノ續キトシテ海軍トシテ申上ゲマス、此海軍艦船艇ニ乗組ムト云フ語ガアリマスケレドモ、是ハ免狀ヲ受ケル者ノ規定ヲ設ケラレタケデアリマスガ、直接ニ海軍ニ關係ガ無いノデアリマス、又現ニ此箇條ニ付テ事實上ノ改正ハ無いノデアリマスカラ、海軍ノ所管トシテハ直接ノ關係ハゴザイマセヌ、併ナガラ斯ウ云フコトニ直接ノ關係ヲ持ッテ居リマス、採用スル規定デアルトカ、何トカ云フ規定ガ省令デ定マリマスル時分ニハ海軍省ト遞信省トノ間ニ熟議ヲシテ、サウシテ極マルノデアリマス、サウシテ本案ノ如キモ閣議ニ於テハ海軍大臣モ列席セラレマシテ承認セラレテ出デ居ルノデアリマスカラ、遞信大臣ノ意ニ出マシタトシマシテモ十分議ヲ經テ居リマスカラ誤解ノ無いヤウニ願ヒマス

○黒岡帶刀君 今遞信省ノ政府委員又海軍省ノ政府委員カラ唯今マデノ有様ヲ能ク御述ベニナリマシテ分リマシタガ、將來トモ本員ハ成ルベク海技其他職員等ノ事ニ於キマシテハ、戰時徵發ノ場合ニ於テ不都合ノ無いヤウニ平日ヨリ成ルベク佛蘭西等ノ徵發令又ハ徵兵令等ノ如ク、軍事ノ目的ニ成ルベク適フヤウニ望ミマスル故ニ、將來トモ當局者ニ於テハ是マデノ方針ヲ繼續セラレマシテ、一層此方ニ一致共同セラレンコトヲ望ムノデアリマスカラ、本員ハ先刻申上ゲマシタ通り同意ヲ表シヤウト云ウ希望ヲ述ベテ置キマス、ソレデ尙將來ノコトニ付テ希望シマスカラ、當局者ニ於テモ將來ニ於テモ是マデト變テコトハ無いト云フ御答辯ニナツタ以上ハ明瞭ニ分ッタ次第アリマス

○淺田德則君 私ハ少シ缺席イタシマシタノデ、既ニ御尋ネニナツタコトカモ知レマセヌガ、此第一條ノ「命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除ク」外此ノ法律ノ規定ニ依リ船舶職員ヲ乗組マシムヘシトアリマスガ、是ハ此法律ノ規定ト云フモノデ、必ズ船舶職員ハ此法律ニ依テ乗組マシムルト云フコトヲ本體トセシテ命令ヲ以テ定ムル場合ト云フモノヲ、ソレヲ本體トシタヤウニ、チヨット法文ガ見エマスガ、其場合ハ多々アルノデアリマセウカ、其邊ヲチヨット伺ヒマス

○政府委員(内田嘉吉君) 丁度此點ハ先程モ御質問ガゴザイマシテ申述ベマシタ所デゴザイマスガ、尙申上ゲマス、是ハ現行法ト精神ニ於テハ變リガゴザイマセヌノデゴザイマス、現行法ハ疾クニ此本條ガゴザイマセヌ爲ニ絶對的ニ此職員ヲ乗込マスコトガ出來ヌヤウナ場合ニ於キマシテモ、尙明文ノ上カラダケ見マスと言フト職員ヲ必ズ乗セナケレバナラヌコトニ解釋サレマス、例ヘバ外國ニ於テ所有權ヲ取得イタシマシタ船ヲ日本ニ回航イタシマス如キ場合、ソレカラ航海ノ途中ニ於キマシテ船舶職員ニ缺員ヲ生ジマシテ、例ヘバ死亡トカ脱員トカ云フヤウナコトニ依ッテ生ジマシタ場合、ソレカラ船舶ヲ相當ノ場所ニ繋留イタシテ置キマシテ、通稱シテ團ヒ船ト云フヤウナ場合ニ、現行法デハ必シモ職員ノ必要デナイノニ拘ラス或ハソレガ出來ヌ場合ニモ乗セナケレバナラヌト云フヤウニ解釋サレマスノデ、屢裁判上ノ疑問トナリマシテ明デゴザイマセヌカラシテ、此度ハ其場合ハ命令デ以テ極メテ……無論是ハ例外ノ場合デゴザイマスガ、其他ハ凡テ精神ニ於

テハ現行法ト一向變リガゴザイマセヌ積デゴザイマス

○委員長(伯爾德川達孝君) モウドナタモ別段御質問ガゴザイマセヌカ

○男爵前島密君 チヨット今御話ノゴザイマシタ海技免狀ノ效力ニ制限ヲ加ヘマシタ例ヲチヨット御舉ゲテ願ヒマス

○政府委員(内田嘉吉君) 是ハ目下調査中デゴザイマシテ、マダ省議ヲ經タノデゴザイマセヌカラ、確定シテハ申上ゲラレマセヌガ、見込ト致シマシテハ近海航路以內ヲ航行イタシマスル船舶ニ於キマシテ甲種一等運轉士ノ免許ハ乙種船長ノ免狀若クハ乙種船長ノ免狀ニ代用スル、又近海航路ヲ航行スル汽船ニ於キマシテ乙種船長ノ免狀ヲ以テ甲種一等運轉士ノ免狀ニ代用スル、サウ云フヤウナ類ヲ命令ヲ以テ規定イタシマスル見込デアリマス

○男爵前島密君 ソレガ效力ノ制限ニナリマスカ

○政府委員(内田嘉吉君) ソレハ申損ヒマシタ、效力ノ制限ト申シマス方ハ主ト致シマシテ今日デハ汽船ノ船長或ハ汽船ノ運轉士トナリ得ルモノデゴザイマス、ソレカラ帆船ノ機關士ト爲リ得ル所ノ者ニ就キマシテノ免狀ヲ同ジク船長免狀デゴザイマスガ、一ハ汽船ニ限ッテ就職スルコトヲ得或ハ同ジク機關士ノ免狀デゴザイマスガ帆船ニ限ッテ就職スルコトヲ得ルト云フヤウナ免狀ヲ出シマスノデゴザイマス、今日略々相談イタシテ居リマスル所デハ其兩様ノ積リデ居リマス

○子爵平松時厚君 ソレハ甲種、乙種、丙種ト云フモノガ制限ノ中デアリマセウガ年限ニハ何モ關係ハ無いノデアリマスカ

○政府委員(内田嘉吉君) ソレハ先程申上ゲタ通り其人ノ履歷ニ依ッテ免狀ヲ交付イタシマスル以上ハ今日ノ所デハ確定ハ致シテハ居リマセヌガ其人ガ持ッテ其仕事ヲ執ル間ハ差支ナイ積デゴザイマス

○子爵平松時厚君 其間ト云フノハ其船ガアル間デスカ

○政府委員(内田嘉吉君) イヤ、其人ガ其免狀ヲ使ヒマス間

○子爵平松時厚君 其使ヒマス間ニ年限ガ有ルノデスカ、無いノデスカ

○政府委員(内田嘉吉君) 年限ハ付セヌ積リデアリマス

○政府委員(田健治郎君) 今ノ御尋ネニ就テモウ少シ補フテ置キマス、詰リ帆船ト汽船トノ區別ハ一番大キナ例デゴザイマス、詰リ汽船ニハ船長トナルケレドモ帆船ノ船長ニハナリ惡イモノガアル、今日デハドチラモイケン、兩方トモ出來ナイモノデアアル以上ハ免狀ヲ渡シマセヌガ帆船ニ限ッテ船長トナルヤウナモノニハ渡シテヤラウト云フノデゴザイマス、モウ一ツ例ヲ舉ゲルト云フト平水航行船ノ如キモノニ至ッテ或ハ石油發動機ト云フモノガ若シモ此法律デ支配ヲサレル……大キナ船ハ未ダ無いヤウデゴザイマスガ、大キナ船ガ出來タトシタナラバサウ云フヤウナ場合ニ船長ニハナリ得テモ外ノ船長ニハ爲リ得ナイ人ガ出來ル、サウスレバサウ云フ船ニ限ッテ船長ニナルコトヲ許スト云フノデアリマスガ、許サレタ以上ハ其人ハサウ云フ船ニ限ッテハ、イツマデモ終身效力ハ持ッテ居ルノデアリマス、他ノ船ニ轉ジヤウト云フトキニハ、他ノ機關ナリ他ノ形ナリノ船ニ轉ジヤウト云フトキハ、ソレハ出來ナイ、サウ云フノガ制限ニナルノデアリマス

○淺田德則君 第四條ノ今度ノ改正ニナリマシタ代用ト云フ所デスガ、是ハ現行法ノ第七條ニ高等免狀ハ下等免狀ニ代用スルコトガ出來ル云々ト云フコトガアルガ、ソレハ是デハ正條ニハ既ニ掲ゲテアッ其外ニ尙際限ナク代用セシムルコトノ以來ルヤウニチヨット解釋ガ出來マスガ、ソレハ何カサウ云フ無限ニ代用スルコトデ無イト云フコトガアリマスカ

○政府委員(内田嘉吉君) 此現行法ノ第七條ハ今回ハ削除イタシマシテ、サウシテ其場合モ矢張り第四條ニ加ヘマシタ一項デ以テ定メル積デゴザイマス、其必要ハ免狀ヲ代用シ得ルヤ否ヤト云フコトヲ定メマスニハ主トシテ履歷並試驗ノ程度如何ニ依テ定ムル積デゴザイマス、勿論甲種ノ船長ト甲種一等運轉士ト中テ甲種船長ガ其以上ノ履歷學藝ヲ要スルノデアリマスカラ、甲種一等運轉士ニ代テ仕事ヲ執ルコトハ當然ノ話、法律ニハ其當然ノ部分ダケホカ規定ガゴザイマセヌ、今日時局ノ關係上、殊ニ必要ト致シテ居リマス場合ニ、此明文ノ制限ノ爲ニ却テ他ノモノガ動カヌト云フヤウニ實際ナリマスカラ、此度ハ此代用ノ效力ハ先程モ申述ベマシタガ、現行法ニ在ル規定ト其他履歷並試驗ノ程度ニ於キマシテ差支ナイモノダケヲ代用トイタシマスコトニ致シマス積デゴザイマス

○男爵前島密君 モウ一ツチヨット念ノ爲ニ伺ッデ置キマス、第七條ノ第一項ノ「外國各港間ノミヲ航行スル船舶」是ハチヨット、ドウ云フノデゴザイマスカ御説明ヲ願ヒタイ、ドシナ鹽梅ニナルノデスカ

○政府委員(内田嘉吉君) 此外國各港間ヲ航行スル船舶ト申シマスル立法ノ趣旨ハ主トシテ先程モ黑岡君カラ御話ノゴザイマシタ様ニ楊子江其他外國ノ河川等ヲ航行イタシマスル船、或ハ極ク狹イ港内ヲ航行イタシマス船ニ適用スル規定ヲ設ケタイト云フ積リデゴザイマス、勿論海ヲ航行イタシマス分ハ普通ノ規定ニ據ッテ支配サレマシテ少シモ差支ゴザイマセヌ

○男爵前島密君 其普通ノ規定ト云フノハドンナモノデゴザイマスカ

○政府委員(内田嘉吉君) 是ハ普通ノ規定ヲ斟酌シテ平水航路ノ例ニ依リマシテ規定ヲ設ケル積リデゴザイマス

○委員長(伯爵德川達孝君) 如何デゴザイマス、モウ十二時デスガ、御質問又ハ御意見等ガアレバ休憩イタシマスガ、別段御質問又ハ御意見ガ無ケレバ採決イタサウト思ヒマス、如何デゴザイマス

○男爵前島密君 採決前ニチヨット……

○委員長(伯爵德川達孝君) 御質問ガアルナラバ一應休憩イタシマシテ午後一時ニ開キマス

午後零時二分休憩

午後零時五十一分開會

○委員長(伯爵德川達孝君) 時刻ハ一時前デゴザイマスガ、午前ニ引續イテ開會イタシマス

○廣海二三郎君 本案ハ大體私ドモノ同業者、即チ船主ノ側カラハ大變結構ナ御案

デゴザイマシテ、誠ニ喜ンデ居ルノデゴザイマスガ、併ナガラ噸數ノ區域ニ至リマシテハ從來ハ御承知ノ通り登簿噸數ヲ取ッデゴザイマス、然ルニ今回ノ政府ノ御案ハ總噸數ニ取ラレテ居ルト考ヘマス、左様イタシマスルト、此登簿噸數ト總噸數トハ其所ニ我ガ大阪船主同盟ノ調書モゴザイマス通りニ格別ナ差ガ無イトナリマス、デ大體御擴張メ下サル所ハ却ッデ又其中ニハ嚴シクナツタヤウナ所ガ一ツアルヤウナ譯デゴザイマス、サウ致シマスカラシテ、ドウカ同盟ノ者等ノ申シマスルノハ是非此噸數ヲ五百噸未満ノモノニ對シテハ百噸ヅツ、五百噸ト云フモノニ對シテハ二百噸、千噸ト云フモノニ對シテハ五百噸、是デケ御増シ下サツタナラバ大變結構デアラウ、一ツニハ海員ハ現今一時ニ戰時ノ爲ニ船舶ガ澤山出來マシタノデ、數ノ上カラ御覽ニナルアルカモ知レマセヌガ、ドウモ實地デハナカナカ拂底デゴザイマシテ、融通モ付キ兼ネテ居ルヤウナ始末デゴザイマス、爲ニドウヅ此區域ヲ一ツ御擴張下サルコトニ一ツ御贊成ヲ願ヒタイと思フノデ參ッデ居リマシテ、私ガソレヲ取次イデ差出シタヤウナ譯デ、私カラ見マシテモ政府モ一ツ御同意下サツデ、サウ云フコトニシテヤッデ戴イタラ大變御主意ノ上ガ廣ク行ハレテ誠ニ結構デアラウト考ヘマスカラシテ、ドウヅ諸君モ宜シク御覽ノ上デ御贊成ヲ願ヒタイモデアリマス

○淺田德則君 此船舶職員法ノ改正ニ據リマシテ從來登簿噸數ト云フノガ總噸數ニ改ッデ職員ノ定員及免狀ノ種類等モ多少變更サレタヤウデアリマスガ、其爲ニ從來三百噸未満ト云フモノガ五百噸未満ト、斯ウ改マツタヤウナコトデアリマス、其爲ニ職員ノ不足ヲスルト云フコトハ實際ナイコトデアリマセウガ、其邊ヲ政府ニ於テ統計等モ御取リニナツタデアリマセウシ、又將來職員ノ増加イタシマスル歩合、又船舶ノ増加イタシマスル所ノ歩合ト云フモノニ比較シテ實際差支ハ無イデアルヤ否ヤト云フコトヲ御説明ヲ煩ハシタウデゴザイマス

○政府委員(内田嘉吉君) 此度此改正ノ一點ト致シマシテ從來登簿噸數ノ制度デゴザイマシタノヲ總噸數ニ改メマシタノデゴザイマス、其理由ハ是ハ申上ゲルマデモナク、御承知デアリマセウト思ヒマスガ、此登簿噸數ト申シマスルモノハ段々此法律ヲ適用スルノ標準トスルニ足ラナイト云フ事實ニナリマシテ、極ク昔ハ此登簿噸數ガ略目安トシテ各種ノ法令ヲ實施イタシマスル、又實際ノ取引キニ於テモ之ヲ標準トスルノニ適當デゴザイマシタケレドモ近年造船術ノ發達ニ依リマシテ機關ノ構造等ガ漸次精妙ヲ極ムルニ至リマシテ近年登簿噸數ト云フモノハ法律上ノ目安ニ多少存シテハ居リマスケレドモ、實際ニ適切デ無イト云フコトニ立至、タノデゴザイマス、ソレデ從來、商法ノ編纂、船員法、船舶法、悉ク近年制定イタシマス所ノ法律ハ總テ總噸數ヲ以テ標準ト致シマシテ、從來ノ登簿噸數ノ制ヲ改メテ制定スルコトニ立至、タノデゴザイマス、即チ此船舶職員法ノ如キガ殆ド今日ニ殘、デ居リマス所ノ登簿噸數ヲ標準トスル殆ド唯一ノモノカト思ヒマス、即チ他ノ法律ノ權衡上、總噸數ト登簿噸數トヲ比較イタシマシテ之ニ相當ナ修正ヲ加ヘルト云フヤウナ原案ヲ提出シタノデゴザイマス、ソコデ此登簿噸數ヲ總噸數ニ改メマスニ付キマシテハ、成ルベク從來ノ噸數ノ關係ヲ維持スルト云フコトヲ主眼ト致シマシテ、既往ノ經驗ニ照シマシテ多少ノ増減ハ加ヘタノデアリマスガ、大體カラ申上ゲマスト云フト、從來ノ程度ヲ存スルト云フコトヲ主ト致シマシタ、サウシテ此登簿噸數ト總噸數トノ換算ノ方法ハ各船ニ依リマシテ多少ハ違ヒマスルガ、先ヅ現行法ノ規定ニ

據リマスルト云フト、百分ノ三十二が機關並石炭庫ノ容積、ソレカラ百分ノ六が乗組員ノ容積ト云フノデ、其百分ノ三十八ト云フモノガ凡ソノ登簿噸數ト總噸數トノ差ニナッテ居リマス、ソレヲ標準ト致シマシテ換算ヲ致シマスト云フト、多少其數ガ正確ニ出合ハヌ所モゴザイマス、從ヒマシテ前申上デマシタ通り既往ノ實驗上必要ナリトスル所ハ減ジ、又既往ノ實驗上必要ナリトスル所ハ増スト云フトニ立至ッタノデゴザイマス、デ大體カラ申上デマスト云フト、遠洋航路、近海航路等ニ於キマシテ噸數ハ多少減ジタノデゴザイマス、ソレカラ沿海航路ニ於キマシテモ又平水航路ニ於キマシテモ減ジタ箇所モゴザイマス、又ソレニ對シマシテ幾分カ職員ノ増加ヲ要スルト云フヤウニ立至ッタ所モゴザイマス、元來此先年來船舶ノ増加ニ依リマシテ海員ノ拂底ダト云フ聲ガ聞エマスノデ、段々其邊ニ付キマシテ調査ヲ致シマシテ、又一面ニハ政府カラ督促ヲ致シマシテ、其向ニ船舶職員ノ養成ヲ十分努メルコトニ致シマシテ無論所管ノ學校ニ致シマシテモ速ニ卒業生ヲ出ス手續等ニ於テ省略シ得ルモノハ省略シテ成ルベク實際ノ職業ニ就クコトヲ早クスルコトヲ昨年來力メタノデアリマス、幸ニモ其結果前年ニ比ベマスルト追々高等海員ノ多數ヲ見ルコトガ出來ルヤウニナッタノデゴザイマス、此度改正ヲ致シマシタ上ニ於キマシテ其過不足如何ト云フコトハ數デ申上ゲルコトモ出來マスルデゴザイマスガ、政府ノ調査イタシマシタ所ノ見込デハ無論差支ナイ見込デゴザイマス、尤モ此幾分ヲ増加イタシマス方ノ分ニ付キマシテハ又多少船主ニ餘地ヲ與フルノ必要モゴザイマシテ、是ハ本年一パイ其準備ノ爲ニ時ヲ與ヘルコトニ原案ハ致シテアリマス、即チ來年ニ至ッテ始メテ其増加ノ分ハ成規ニ依テ乗組員ヲ要スルト云フコトニナリマス、ソレカラ減ズル方ノ分ハ詰リ此遠洋航路船申上デマスト現行法ハ登簿噸數ハ三百噸未満デゴザイマスガ、之ヲ總噸數ニ換算イタシマスルト四百八十噸バカリニナリマス、ソレハ此五百噸ト云フモノニ原案ハ致シマシテ僅ニ二十噸バカリノ餘地ヲ茲ニ存シテ居リマスノデアリマス、ソレカラ三百噸以上ガ即チ四百八十噸以上ノ船デゴザイマス、是ニハ異動ハ別ニゴザイマセヌ、ソレカラ帆船前船ニ於キマシテモ矢張り是ハ帆船前船ハ御承知ノ通り百分ノ六ガ登簿噸數ニ除却サレル所ノ數デゴザイマス、其差ハ僅デゴザイマスガ、併シ其差ノ爲ニ二隻ホドノ船ハ減ジタノデゴザイマス、ソレカラ近海航路ニ於キマシテハ是ハ從來ハ登簿噸數百噸未満デゴザイマシタノフ是ハ總噸數百噸未満ト致シマシテ、サウシテモ是モ此實驗ニ依リマシテ職員ハ乙種二等運轉士ヲ乗セルコトニ修正ヲ致シタノデゴザイマス、ソレカラ近海航路船ハ從來ハ五百噸未満デゴザイマシタノフ之ヲ換算イタシマスレバ八百噸ニ丁度ナリマスノデ、是ハ實際上差支ナイト云フ所カラ千噸加ヘテ既ニ此二百噸バカリハ此度從來ノ汽船ヨリ餘地ヲ存シテ即チ擴張ヲ致シタ譯デアリマス即チ下級ノ海員ヲ以テ……以前ヨリハ低クナッタ譯デアリマス、從ヒマシテ此五百噸以上ノ船ハ一千噸以上ノ船ト改マッタ譯デアリマス、其結果ハ千噸以下ノ船舶ハ下級ノ方ニ繰下ルコトニ致シマシタ、ソレカラ沿海航路ニ於テ從來此百噸未満ヲ二百噸未満ト別ケテゴザイマシテ、是ハ多少此既往ノ審判、海難等ノ調査ヲシタ結果ト致シマシテ少シク海員ヲ改良スル必要ヲ生ジテ、是モ別ニ人ガ殖エタノデナクシテ乙種二等運轉士ヲ一等運轉士ニシ、總噸數百噸以上ニナッタ、ソレカラ平水航路ニ於キマシテ矢張り此百噸未満、百噸以上ノ區別ガゴザイマシタノフ更ニ此水平航路ニ大キナ船ヲ實際造ルト云フ傾キガゴザイマスノデ、此船ニ向ヒマシテハ

矢張り他ノ航路ノ鈞合上、總噸數二百噸以上、職ハ詰リ乙種二等デ從來アッタノフ一等ニスルト云フノデアリマス、其外帆船前船、沿海航路ニ帆船前船ヲ設ケテ、近海航路ノ帆船前船ハ或ル程度二十五噸以上二十噸以下ト改メマシタ結果トシマシテ二千二百噸ト云フ海員ノ免狀ヲ持ツ海員ヲ減ズルコトガ出來ルヤウニナッタノデゴザイマシテ、全體カラ申上デマスト多少或ルモノハ殖エテ居リマスルガ、其減ズル方ノ部分ガ此表ニ依リマス餘ホド多イノデゴザイマス、近海航路ノ帆船ノ數ガ多イ次第デゴザイマスケレドモ、即チ從來ノ實驗上必要ナリト認メタ部分ヲ重モニ致シマシタ、又ソレホド必要デ無イ即チ改正案ニ於キマシテハ實況ヲ取捨イタシマシテ適當ノ所ト認メタ次第デアリマス、ソレカラ海員ニ付キマシテハ不足ハナイカト云フ御尋デ、先キホド申上ゲマシタヤウニ養成ヲ力メマシタコトデゴザイマス、又此度ノ改正案ニ依リマシテ免狀ノ代用ノ方法ヲ設ケマシタコトト、ソレカラ免狀ノ效力ニ制限ヲ設ケテ發航スルコトノ出來ルヤウニイタシマシタ、ソレ等ノ便利ヲ考ヘテ見マスルト從來此汽船ノ船長、汽船ノ運轉士トシテ仕事ヲ執ル爲ニ免狀ヲ得ルコトガ出來ナカッタ者ガ免狀ヲ得ルヤウナコトニナリマスカラ、從テ人殖エシ、ソレカラ又一方ニ不足シテ居リタモ、一方ニ餘ッテ居ル海員ガ先キホド申上ゲマシタヤウニ近海航路ノ如キニ至リマシテハ職員ノ流用ガ付クヤウニナリマシタカラ、旁、政府ノ認ムル所デハ、此表ニ據リマスルト此改正案ニ依リマシタ少シモ差支ナイ積リデアリマス

○淺田德則君 極々小サナコトデアリマスルガ、第八條ノ中ニ「海技免狀ノ行使ノ假停止」ト云フコトガアリマスガ、現行法テ見マスルト云フト現行法ノ第六條ノ主義ハ「海技免狀ノ行使ヲ禁止セラレタル者及其ノ行使停止中ノ者」斯ウ云フコトガアリマス「假」ト云フ字ガ殊更ニ這入、テ居ルノハ現行法ノ中ニハ「假」ト云フコトハ無イノデアリマスガ特ニ此罰則ノ所ニ至ッテ「假」ト云フコトガアリマスノハ、是ハ何カ意味ノアルコトデアリマスカ

○政府委員(内田嘉吉君) 此假停止ト申シマスノハ詰リ此海員懲戒法ノ規定ニ依リマシテ審判所ノ命令ニ依テ假停止ヲスルノデゴザイマス、詰リ停止中ハ職務ヲ執ルコトハ出來ヌ、斯ウ云フコトデゴザイマス、ソレデ此第六條ノ方ハ要スルニ此停止ヲ命令セラレタ方ノ制裁ヲ受ケタ方ノモノデゴザイマス、ソレデ詰リ假停止中ノ者ガ審判所ノ命令ヲ以テ假停止ヲ言渡サレテ居リマスニ拘ラズ職務ヲ執ルト云フコトハ其命令ニ對シマシテ不穩當デゴザイマスルカラ、即チ職務ハ執レヌ譯デアリマス、其違反ニ對シテ第八條ニ制裁ヲ設ケタノデアリマス、第六條ハ既ニ審判所ノ裁決ニ依テ本案ノ言渡シヲ受ケタ者ニ對シテノ決定デゴザイマス

○淺田德則君 之ニ就テノ罰則ハドレヲ適用イタシマスカ

○政府委員(内田嘉吉君) 此假停止ハ第八條デゴザイマス、第八條ニ「左ニ掲グル者ハ」此ノ法律又ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シ「此」場合ニ於テハ賃借人ヲ五百圓以下ニ云々トゴザイマス、其箇條デゴザイマシテ、ソレト同ジ罰ヲ受クルコトニナルノデゴザイマス

○淺田德則君 分リマシタ

○男爵前島密君 唯今内田君ノ御説明ニ依リマスレバ此法案ノ御改正ニナリマスノ

ハ全ク登簿噸數ヲ止メテ總噸數ヲ以テ算出シナケレバナラヌト云フ一點カラ必要ガ起リマシタノデアリマス

○政府委員(内田嘉吉君) 先程申シマシタ通りソレガ一つノ改正ヲ必要トシタ點デゴザイマスカラ、其他實施上ノ經驗ニ依リマシテ必要ト認メマシタ點ハ職員ノ増減ヲ加ヘマシタノデアリマス

○男爵前島密君 此船體ガ大キナリ隨テ貨物搭載ノ積量モ多クナッタ故ニ此職員ノ定數等ニ關シテ規定スルツ云フ御主意ハ一つモ無イノデアリマス

○政府委員(田健治郎君) 唯今前島男爵ノ御尋モゴザイマスルシ、先刻廣海君ノ御希望ノ點モアッタヤウデゴザイマスカラ一應ソレニ對スル政府ノ意見ヲ申上ゲテ置カウト

思ヒマス、元來職員法ノ改正ヲサレマシタノハ先刻モ大體ノ說明ニ於テ申上ゲマシタヤウニ種々ナ點ハゴザイマス、併シソレヲ改正シマス即チ噸數ヲ改正シマス云フコトノ重モナル一番廉立タ理由ハ、登簿噸數ヲ廢シテ總噸數ヲ用ル、即チ商法其他ノ法令ト

一致セシメルツ云フノガ重モナル理由デアリマシテ、此噸數ガ餘リ少ナイカラ之ヲ擴張シテモット大キクスル、即チ寬大ニスルツ云フ主意デ起ッタノデアリマシタゴザイマス、デ其他細カイ所ニ參リマスト乘組職員ナドノ中ニ少シノ増減モアリ或ハ帆船ナドノ規定ノ無カッ

タノヲ加ヘタト云フ廉モゴザイマスガ、大體上デハ噸數ヲ擴張シヤウト云フ必要カラ起ッタノデアリマシタゴザイマス、ソレデ此前島男爵ノ御尋ニ對シテハソレガ御答デゴザイマス、ソ

レカラ其他ノ箇條ニ付キマシテハ前ニモ申シマス通り或ハ職員ノ代用ノ便利ヲ開クトカ或ハ特種ノ免狀ヲ以テ海員ノ成ルベク働キノ餘地ヲ多クスルツカ云フヤウナル點ガ幾ラモ

ゴザイマスルカラ、是ハ航海者ニ向テ確ニ今マデ無カッタ便利ヲ増加スルツ云フコトニナラノデアリマス、デ廣海君ノ御希望ニ付キマシテハ或ハ船舶業者ト云フ上カラ申シマシタ

ナラバ成ルタケ寬大ニ輕クシテ貰フツ云フコトハ是ハ船舶業者ニ限ラナイ、何業者ト雖モ義務ヲ成ルタケ寬大ニ輕クシテ貰フツ云フコトハ便利デアラウト思ヒマス、併シ是ハ又一

方ニ社會公衆ニ向テ重大ナル責任ヲ負擔シテ居ル業務デアルト云フコトヲ深ク考ヘテ戴カナケレバナラヌノデアリマス、ト云フハ此貴重ナル生命財産ヲ預デ即チ船舶ノ

操縦ノ適不適ト云フコトハ直チニ生命財産ノ安固若クハ危險ト云フコトノ影響ヲ受ケル

ト云フ次第デゴザイマシテ餘ホド責任ノ重イ業デアリマス、ソレデアリマスカラ唯ダ營業者ノ義務ヲ輕クスルツ云フ爲ニ或ハ公衆ノ安全ヲ缺クト云フヤウナコトガアリマシテハ是ハ

容易ナラヌコトデアリマス、殊ニ又營業者自身ニ致シマシテモ劣等ナル免狀ヲ持ッテ居ル者ニ貴重ナル船舶ヲ委スル、若クハ不十分ナル所ノ乘組職員ニ向テ貴重ナル財産ヲ

任シテ置クト云フコトハ必シモ利益トハ申サレマセヌ、相當ノ職員ヲ備ヘ相當ノ責任ノア

ル者ヲ使ッテ己レノ船舶ノ安固ヲ保護スルツ云フコトモ營業者自身ノ上ニ於テモ亦利益トナルト思フノデアリマス、ソレデ政府ガ此案ヲ作ル上ニ於キマシテハ從來ノ經驗ニ考ヘマ

シテ之ヲ或ハ百噸ナリ或ハ二百噸ト云フヤウナ理窟ニ噸數ヲ種々シテ即チ之ヲ寬大ニスル營業者ノ義務ヲ輕クスルツ云フ必要ハ毛頭認メマセヌノデアリマス、ソレデ事實ノ又職

員ノ上ニ於キマシテモ今日現ニ先ツ差支ナク行ッテ居リマス、デ今日ヨリ大ニ是ガ嚴ニナ

キマシテラうんぞんば——ト云フ、圓イ數字デ書キ上ゲル時ハ己ムヲ得ヌコトデアリマシテ、或ハ寬大ニナルコトモアリ或ハ嚴ニナルコトモアリマスガ、總體ノ上カラ見タナラバ決シテ嚴ニナルコト居ルト云フコトハ無イノデアリマス、現ニ職員ノ免狀ヲ持ッテ居ル噸數此海員ノ法定ノ噸數ト比ベテ見マシテモ何レノ職員モ各種ニ免狀ハ分レテ居リマスガ、何レノ免狀デモ多少ノ餘地ハ皆存シテ居リマス、ソレデアリマスガ故ニ今此改正ヲシタ爲ニ起ル

所ノ影響ト云フモノハ寧ロ職員ノ數ニハ餘地ガ出來ルト云フコトガアッデモ此改正ノ爲ニ職員ノ數ニ不足ガ起ルガ爲ニ職員ノ供給上、難儀ヲ起スト云フコトノ心配ハ無カラウト

云フコトヲ信ジテ居ルノデアリマス、併ナガラ是ガ幾ラカ義務ヲ加重スルツ云フ方ノコトニ付キマシテハ之ヲ急劇ニ直グニ實行スルツ云フコトニ付キマシテハ、雇入ナドニ付イテハ或

ハ差支ガ起ラウカト云フコトヲ氣遣ヒマシタ、故ニ此附則ノ一項ニ於キマシテ明治二十

八年十二月三十一日マデハ從前ノ儘ニシテ置イテモ宜イ、斯ウ云フ所ノ餘裕ヲ取ッテ

置イタノデアリマスカラ、ソレデ或ハ船舶業者ノ希望カラ申シマスレバ、モット寬カニシテ

貰ッタル便利ガ宜イト云フコトハ無理カラヌコトデアリマセウガ、政府ガ航海業ノ發達及

公衆ニ對スル保護、又航海業者ガ其義務ニ對スル所ノ適當ナル程度ト云フヤウナモノ

ヲ斟酌シタ上カラ考ヘマシタノデアリマス、原案ニ於テ毛頭差支ナイト存シマスカラ其事ヲ一言

申上ゲテ置キマス

○黑岡帶刀君 チョット政府委員ニ質問シタイノハ乙種丙種ノ職員ニ於キマシテ多少今船舶ニ乘組マズシテ或ハ陸上ニ居ル者モアリマス、其職員タルベキ人ガ此特殊ノ

船舶ト云フコトガ第七條ノ第三項ニアリマスルガ、ソレカラ又第二項ニモ特殊ノ目的ノ船舶ト云フコトガアリマス、其他ニモ同様ノ船舶アルカモ知レマセウガ、ソレニ適合スル爲ニ他ノ

種類ノ免狀ヲ以テ代用スルツ云フヤウナコトハ免狀ヲ與ヘマシタ時ニハ其待命ノ人ヨリ採用ニナラヌ場合アルデアリマセウカ、ドウデゴザイマセウカ

○政府委員(内田嘉吉君) 第七條ノ特殊ノ船舶ニ向テ特殊ノ乘込人ヲ乗セルトキニハ、從來既ニ乘來ッテ居ルノデアリマス、ソレヲ今度ハ此改正ニ依ッテ寧ロ寬大ニナラウ

ト云フ方ニナルコト、思ヒマスデゴザイマス、ソレカラ乙種丙種ノ員數ニ至リマシテハ、現今マデノ法定ノ員數即チ乘組人ノ數ヲ比較シテ尙就職セザル者トシテアル率ヲ除算シテ

見マスト餘ホド餘ッテ居リマスノデアリマス、而シテ御尋ノ如ク第七條ノ特殊ノ船舶ニ付テハ寧ロ減ズル方デアリカラ、餘計ニ人ヲ要スルコトハ無イノデアリマス

○黑岡帶刀君 其待命ノ外ニ今滞在ノ船舶員デゴザイマス、ソレ特殊ノ……デハゴザイマセヌ、他ノ種類ノ免狀、例ヘバ海技免狀ノ效力ヲ與ヘタル者ニ此免狀ヲ與ヘルヤウナ場合ガアリマス

○政府委員(内田嘉吉君) 丁度御尋ノコトハ、近頃近海航路ヲ航行イタシマスル船舶ガ増加シテ其海員ガ不足デアル場合ニ甲種ノ運轉士ニ乙種ノ運轉士ヲ以テスルノ途ヲ開クコトガ出來マシタカラ、無論現今デモ昨年來甲種運轉士ガ先キニ申ス通り、大分人ノ數ガ増加シテ居リマスノデアリマスカラ、尙ソコハ唯今言フヤウニ餘ッテ居ル所ノ丙種ノ船長トカ職員トカ云フモノニナルコトガ出來マスカラ、無論人員ニ不足ヲ生ズルコトハアルマイト政府デハ認メテ居ルノデアリマス

○廣海二三郎君 唯今次官カラ御述ベニナリマシタ内ニ、船主ハ責任ヲ輕クスルツ云

フヤウニ御考へ下サイマスト甚だ迷惑ヲ致シマスガ、全クサウデハゴザイマセヌ、ト云フモノハ搔摘シテ御話シマスト、甲種船長ハ例ヘバ千五百噸ナラ千五百噸、千噸ナラ千噸ト云フ制限デ其以上ハドレダケマデモ實際限ナク何萬噸マデモ採用……採用デハゴザイマセヌ、採用スルコトガ出來ヤウト思ヒマス、然ルニ乙種ノ方ハ小サイ制限ニ限ラレテ、實ニ僅々タル間ヨリ外働ケナイ、コ、等ノ權衡カラ見デモ是ダケ増シテモ別ニ害モ無イヤウニ思ハレマスカラシテ、ドウゾ此邊ハ我々ハ御議論ヲスル譯デハゴザイマセヌガ、差支ガ無ケレバ將來ノ獎勵ノ爲ニ御賛成アラムコトヲ私ハ希望イタスノデゴザイマス

○政府委員(内田嘉吉君) 此甲種免狀ト乙種免狀トハ其範圍ガ違ヒマス、從ッテ其免狀ヲ得ルニ付テ海員ノ履歷並學術等モ試驗ノ上ニ餘ホド差ガゴザイマス、幸ヒ伊東技師ガ居リマスカラ、御尋ガアレバ甲種乙種ノ試驗經歷等ノコトヲ申上ゲテモ差支ゴザイマセヌ

○淺田德則君 幸ニ其筋ニ詳シイ方ガ出席デゴザイマスレバ、ドウゾ其區別ヲ明ニ御説明ヲ願ヒマス

○委員長(伯爵德川達孝君) 一應御説明ヲ願ヒマス

○説明員(伊東治三郎君) モト職員ノ配當ハ即チ職員タルベキモノ、力ニ依リマシテ、重モニ配當イタシマシタ次第デゴザイマシテ、今日ノ乙種船長ハ即チ登簿噸數五百噸未滿ノ職員トナルベキモノハ明治初年カラズト極ッテ居ル、從ッテ其經歷又技能ト云フモノモ、其後ニヤッテ居リマスノハ、船ノ大キサガ登簿噸數二百噸、二百噸以上ノ船ニ乗ッテ經歷ガアルベ宜シイト云フコトニナッテ居ル、ソレカラ其試驗ノ程度ト云フモノハ、即チ此沿岸航海ト云フコトガ主デアルカラシテ、ソレデ測量ノ術ナドハソレホド知ラヌデモ重モニ詰リ地方ノ山ヲ見ルトカ、或ハ海圖ニ依ッテ推算スルト云フコトガ土臺ニナッテ居リマシテ、從來ノ經驗ヲ土臺トシテ、サウシテ船ノ進路ヲ極メル、其他ノコトハ唯推測ヲ土臺トシテヤルト云フノデ、外ニ少シモ何モ見エナイ所ヲ太陽ノ星ニ依ッテ天測ヲ土臺ニシテ航行スル方ハ土臺トシテ居ラヌノデアリマス、サウシテ其經歷ハ二百噸以上ノ船ニ乗ッテ經歷サヘアレバ試驗ヲ受ケテ免狀ヲ得ラレル、ソレカラ甲種ノ方ハ陸ノ方ヲ土臺ニセズ、大洋ノ真中デモドコデモ即チ此磁器ナリ或ハ太陽ナリ星ナリ其他ヲ土臺トシテ、自分ノ船ノアル所ヲ極メ或ハ測量ノ機械モアリマスガ、其測量機械ニ狂ヒガアルヤ否ヤト云フコトヲ定メ、色々ニシテ十分ニ其船ヲ運轉シテ行ケルダケノ學術ヲ土臺ト致シマシテ、ソレニ加フルニ船ニ乗ッテ所ノ經驗ヲ有ッテ居ナケレバナリマセヌ、今日ハ登簿噸數二百噸以上ノ船ニ乗ッテ經驗モ無クテハナラズ、又順序ヲ履シテ甲種ノ船長ノ甲種ノ二等ノ職務ヲ取り、又二等ニナルニハソレ……帆船ニ乗ッテ經歷モ無クテハナラズ、又二等カラ後ハ二等ノ實職モ執ラネバナラズ、又一等ニナルニハ一等ノ職務モ執ラネバナラズ、其上デ免狀ヲ授與スルト云フコトニナッテ居リマスノデ、先ヅ甲種ノ種類ハ即チ既ニ學術ヲ十分ニ保證シテ居リマスノデ、學術ヲ應用シテ行ケバドコヘデモ行ケルト云フノガ土臺ニナッテ乙種ハ航行區域ヲ沿岸ニ止メテ山ナリ其他ノ推測ヲ以テ航行ヲスル範圍ガ狭イカラ、ソレニハ從來ノ經驗ヲ重モニ土臺トシテ、ソレニ必要ダケノ學術ヲ加ヘテ行ク、ソレヲ土臺トシテ試驗ノ方法ナリ免狀ノ授與方ヲ致シテ居リマスノデ、餘ホド其間ニハ學術ノ點ニ於キマシテハ非常ナ差ガアリマスノデゴザイマス

○委員長(伯爵德川達孝君) 別段御質問ハゴザイマセヌカ

○淺田德則君 アリマセヌ

○委員長(伯爵德川達孝君) ソレデハ採決ヲ致シマスガ、別段御發議ガ無ケレバ原案ノ儘デ御異議ハゴザイマセヌカ、條數モ短ウゴザイマスカラ全部ヲ問題ト致シマス

○黑岡帶刀君 原案ノ採用アラムコトヲ希望イタシマス、贊成イタシマス

○委員長(伯爵德川達孝君) 別段御異議ガ無ケレバ原案可決ト認メマス

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)
○委員長(伯爵德川達孝君) 然ラバ原案可決イタシマシタ、是デ散會イタシマス
午後一時三十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵德川 達孝君

委員

子爵平松 時厚君

子爵永井 尙敏君

男爵前島 密君

淺田 德則君

黑岡 帶刀君

田島竹之助君

委員ニアラスシテ出席シタル者
廣海二三郎君

政府委員

海軍次官 齋藤 實君

遞信次官 田 健治郎君

遞信省管船局長 内田 嘉吉君

説明員

遞信技師 伊東治三郎君

明治三十八年一月二十八日印刷

明治三十八年一月二十九日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局